

2024年9月30日

各位

会社名 株式会社ビーロット
 代表者名 代表取締役会長 宮内 誠
 (コード番号:3452 東証スタンダード)
 問合せ先 TEL. 03-6891-2525

2024年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催いたしました取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2024年2月15日付「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました2024年12月期の連結業績予想の修正について決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2024年12月期連結業績予想の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	5,690	5,060	3,470	180.08
今回修正予想(B)	30,100	5,690	5,060	3,470	180.08
増減額(B-A)	—	0	0	0	—
増減率(%)	—	0.0	0.0	0.0	—
(参考)前期連結実績 (2023年12月期)	23,510	5,498	4,945	3,297	171.13

2. 修正の理由

当社グループは、販売用不動産の売却額等を売上高とする不動産投資開発事業、不動産取引に対して一定の料率を乗じた手数料収入等を売上高とする不動産コンサルティング事業、保有不動産に対する賃貸収入や賃貸管理報酬等を売上高とする不動産マネジメント事業の3つの事業を営んでおります。これら3つの事業は、収益認識の形態が異なり、売上高の計上額も大きく異なることから、当社グループでは、売上高の業績予想は非開示とし、株主価値の向上に直結する「親会社株主に帰属する当期純利益」を重要な KPI と定めて、売上高を除く業績予想を策定しております。

当期業績予想においては、不動産投資開発事業にて当社が得意顧客とする富裕層・海外富裕層・事業会社からの不動産の取得ニーズが非常に強く、計画を超える利益での売却を実現するプロジェクトが複数件あり業績の積み上げを図ることが出来る見込みとなりました。また、不動産コンサルティング事業における取り扱い案件の大型化、不動産マネジメント事業における宿泊施設の変動賃料収入等の増加、近年に実施したM&Aにより、上記のとおり当社グループ経営における各部門一丸での取り組みの結果として、売上高が前期連結実績を10%以上上回る見込みとなりました。

売上高を除く業績予想につきましては、現在精査中ですが、今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示する予定であります。

以 上

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。